

高等学校の先生方！ 学園・分校と連携しませんか？

9月22日のひびき分校等支援連絡会議、お世話になりました。その会議の中で議題の一つとして取り上げさせていただいたのが、校種間の連携、特に高等学校と学園・分校との連携についてです。『学園ではできていても…』という話を聞きます。子どもたちの自立のためには、退園後も子どもたちが社会に適應できるよう効果的な支援を行う必要があります。学園では、退園した子どもたちを対象にアフターケアを実施しています。退園生に電話で連絡を取り、子どもたちの悩みを聞き、アドバイスをします。このアフターケアについて、高校と連携することで、より充実したものにできるのではないかと考えました。子どもたちの今を見つめる高等学校の先生方と、子どもたちと太い絆を築いてきた学園職員とが連携し、それぞれの情報を共有しながら、異なる立場から同じ方向を向いた支援ができれば、指導の相乗効果が得られるはずです。高等学校の先生方、是非、学園・分校と連携しましょう。アフターケアの目的や連絡を取る際の窓口を下に載せております。連絡をいただければ幸いです。

【アフターケア目的】

えひめ学園では、退園した子どもたちが学園で身に付けた生活習慣や人間関係を基に、円滑に社会適應できるよう、家庭及び関係機関と連携して支援を行うアフターケアを実施しております。その期間は、退園後1年間を基本としており、特に退園後の半年間は、小まめに連絡するなどして支援体制を強化し、生活の安定に努めています。また、高等学校などへ進学した子どもたちについては、卒業までの3年間をアフターケアの期間としています。

【連絡窓口】

担当：えひめ学園 支援課長 田井野 牧子
連絡先：0897-41-7601

その他：学校名と生徒氏名を教えていただけたらアフターケアの担当者へつなげていただきます。

みんなで力を合わせ、
困っている子どもたちを
支えていきましょう。

